

大学図書館問題研究会 2017/2018 年度第 6 回常任委員会議事要録

2018 年 3 月 21 日（日） 14:00～17:40

筑波大学東京キャンパス

出席：呑海、北川、鈴木、上村

話題提供：和知

（報告事項）

全国大会小委員会

第 6 分科会は、和知さんに加えて呑海が担当することになった。

江沢、山下については、照会中。

研究担当小委員会

オープンカレッジ：日程が確定し、準備は順調に進められている。

編集小委員会

5 月号：「特集に当たって」のなかで、50 周年記念事業について触れる

今後、寄贈図書の見直し・新刊紹介について、図書が届いたら dtk-j で周知し、dtk-z や dtk で執筆者を募る。今回は和知さんをお願いする。

会誌

・北村さん：依頼があり締め切りをのぼした。

・44 号の発行が遅延する危険がある。 → 年 2 回の発行及び全国大会の発行は必須

・関西合同例会の会誌掲載は難しいと思われる（オフレコ話が多かった） → 詳細について、野間口さんに確認を北川さんからする

合同例会以外の執筆者は下記の通り

・44 号（発行 4 月） 事例報告：鈴木、書評：和知

・45 号（発行 7 月） 書評：和知 書評：鈴木

会誌の維持区分に「資料紹介」とは別に「書評」を加え 10,000 字とする。資料紹介の文字数 1,600 字。

この件を北川さんの方で整理をし、次の常任委員会にかける。（会誌掲載記事のカテゴリー：論文、書評、報告、資料紹介）

広報小委員会

- ・このところ報告がないので、体制を整える必要がある。

## 事務局

出版担当 → 資料の通り 担当が交代する

会費徴収 →

組織 会報送付用ラベル出力：渡邊さん（京都）が担当することになった  
入会希望の受付口：上村事務局長から後任に引き継ぐことが可能組織担当の位置づけ及び  
主担当を置くことについて、次年度に向けて検討をする必要がある。次年度の常任委員会の  
体制について、継続して審議を続ける。

WG → なし

- ・ウェブサイトの再検討について、体制を検討する必要がある

議事録の決定まで

- ・会議後常任は1週間、全国は2週間回付をし、オーソライズする（決定）

（審議事項）

委員会会場

- ・有料の場所もやむを得ないか

予算として今年度は2500円/回を予算化してある

次年度は5000円/回積んでおく必要がある

委員会の回数を減らすか

→今年度の常任委員会（7月まで）はルノアール神田南口駅前店を使用する。事務局が予約を行う。（使用は最大3時間）

50周年記念事業として、大図研のロゴを作ってはどうか → リリースは2020年

公募期間 ～2018年12月末

決定方式 会員の投票としてはどうか

2020年7月に当選者からデータ受領→ これらを全国委員審議事項とする

メーリングリスト dtk-h にクイックスの担当者を入れることについて→了承

・dtk-h に団体アドレスを登録している東京地域Gについては、個人登録をしないおし  
らう

・流れ：クイックス→ 新アドレス dtk-h（常任委員、編集委員、新アドレス dtk-

pub@daitoken.com)

東京地域グループのグループアドレス登録メンバー

- ・鈴木：dtk-h のメンバーに上記を連絡する

入会案内

- ・内容を確定、相見積もり、業者決定 オープンカレッジには間に合わせる

次回：2018年4月15日(日)14:00～ 喫茶室ルノアール 神田南口駅前店